

Mランドニュース Vol. 51

丹波ささ山校 平成23年6月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所

〒669-2436 兵庫県篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940

発行責任者 豊田文雄

<http://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

「耐える」だけが精神力ではない。人間の精神の力はもっともっと豊かなものであり、イマジネーションこそ、人間の「精神」のはたらきそのものではないだろうか。

河合隼雄先生(こころの处方箋より)

創立記念日



式典の冒頭、挨拶を述べる小河会長



ビュッフェスタイルのランチを楽しむ出席者

創立49周年記念
アワードパンケ
の篠山の地にあって一貫して人々の支援機関であり、地域の交通安全センターとしての役割を果たしてまいりました。

来年の五十周年に合わせ、一流の教習所であり、社会の役に立つ企業として永続することを目指す、気持ちも新たなスタートです。

モータリゼーションにはじまり約半世紀、豊かさの象徴としての自動車は人々の生活を支え、国民皆免許時代、そして交通戦争の時代を経て世は少子高齢化社会へと移っています。この間、この篠山の地にあって一貫して人々の支援機関であり、地域の交通安全センターとしての役割を果たしてまいりました。

◎アワードパンケット
(記念昼食会)
多くの方に支えられていることへの感謝の気持ちと社員の成長を称える昼食会は、在籍ゲスト、酒井篠山市長はじめご近所、来賓の方々とともに社内にあるカフェ「ミロ」のこだわりメニューを堪能しました。



宣言をする井階専務

「一流的教習所をめざす」
・細部にこだわり、
・突き抜ける
・理念に基づく行動
・Mランド(地域
と一体となってこそその貢献)

宣言

交通安全教室

五月二十七日、四十九周年の創立記念日を迎えました。

モータリゼーションにはじまり約半世紀、豊かさの象徴としての自動車は人々の生活を支え、国民皆免許時代、そして交通戦争の時代を経て世は少子高齢化社会へと移っています。この間、この篠山の地にあって一貫して人々の支援機関であり、地域の交通安全センターとしての役割を果たしてまいりました。

来年の五十周年に合わせ、一流の教習所であり、社会の役に立つ企業として永続することを目指す、気持ちも新たなスタートです。

今年の大きな目的は、自転車を安全に乗っていただくことはもちろんですが、もし万一日本で事故に巻き込まれれば母国で待たれている家族や友人を悲しませることがあります。そのようなりスクを軽減させる方法として「人間の能力の限界について」(視野、中心視野)や「道路交通法の違いについて」(中国では車は右側通行)の交差点での確認の仕方を知ることで自分の身を守ること!! 謙譲の心!! 地域の安全につながることが目的です。

五月十四日(土)、株式会社ジェクス様受入れ中国研修生六名の方に自転車の交通安全教室を行ないました。今回の大きな目的は、自転車を安全に乗っていただくことはもちろんですが、もし万一日本で事故に巻き込まれれば母国で待たれている家族や友人を悲しませることがあります。そのようなりスクを軽減させる方法として「人間の能力の限界について」(視野、中心視野)や「道路交通法の違いについて」(中国では車は右側通行)の交差点での確認の仕方を知ることで自分の身を守ること!! 謙譲の心!! 地域の安全につながることが目的です。

研修チーム
リーダー 南勝 宏幸



通訳の方のサポートを受けての受講風景



自動車からの見え方も大切な体験

言葉の違いや文化の違いなど伝達方法に戸惑いがありました。しかし、今回通訳をお願いしました稻山様(五年前のMランド卒業生)のご協力をいただき、私も中国文化について学ぶことができ、本当に

見られていましたが、真剣なまなざしで講習を受けられました。中にもし大に笑顔が見られるようになり、また、積極的に質問される姿に私たちが励まされ、共に成長できだと実感しています。これからも様々な場所で地域の方と密着しながら、今回の自転車教室を教訓に積極的に取り組んでまいります。

ユーモアのある指導者の方たちのおかげで楽しい時間を過ごしました。交通安全機会を作っていました。株式会社ジェクス様はじめ、参加された受講生の皆様、篠山警察署、安全協会、そして警察署、安全協会、そしてスタッフすべての方に感謝いたします。

(受講者感想)

王秀玲 様

丹波さき山先人に学ぶ

VOL. 4

「下中 弥三郎」

しもなか やさぶるう

明治十一年（一八七八）多紀郡今田村（現篠山市今田町）に陶工の子として生まれる。持ち前の辛抱強さと頑張りによって小学校卒業後、独学によって小学校教員となつた。その後上京、自ら『や、此は便利だ』を著述、平凡社を興して以降文部省全集、美術全集、百科事典など次々に世に出し、一躍出版界の第一人者となり民衆教育に貢献した。更に戦後は国際平和への行動でも大きく寄与した。

「弥三郎は陶工の外は、一介のサラリーマンに過ぎなかつたが、常に己の事業、己の仕事としてベストを尽くした。その集大成が平凡社という自己の事業に発展した」と評されている。

《エピソード①》

「平凡社」という名は、高尚な名にはすべきが、偏りがあり、偏りがあつて面白くなく苦しんでいると、かた



今も昔も登り窯が立ち並ぶ

故郷今田立杭の風景

事業といわれ、この大業を果たしてやり遂げ得るかの懸念に対し、「地球の運行が停止せぬ限り『平凡社の大百科事典』は必ず月一回発行される」とまで発行日を強調し、風評による被害を払拭した。仕事というものは覚悟一つだ。

《エピソード③》

出版事業を始めた動機も、立派な百科事典を出したいと念願するようになつた動機も私のほとんど学校教育を受け得ないで育つたという経歴による一貫不感の要求であった。



人も車も譲り合うのがしづら通りです

凡がよいでしょうと言い出したので、そのまま社名ともなかつた。

《エピソード②》

百科事典の出版は至難の

もなかつた。

傘かしげ

ば生きる資格がない」という言葉があります。

愛とは究極譲ること。昔

のたたずまいを残す篠山の街にはこうした譲り合いを

江戸時代のしぐさのひとつです。

傘かしげとは譲り合いや互いに傘を人のいない側にかたむけてすれ違うことをいいます。

雨の日のせまい道などで相手を濡らさないようにと互いに傘を人のいない側にかたむけてすれ違うことをいいます。

『Mラノード丹波さき山』

編集後記

大型自動二輪指定取得

感謝イベント

卒業生も在籍性も
そうでない人も

誰でも参加OK！

「テーマ」

自主経路で

街を美しく！

ボランティア清掃

六月一〇日（日）

一〇時三〇分～一五時

- ・バーベキュー
- ・二輪試乗会
- ・その他催し物

《雨天決行》

※申し込み…
六月十七日（木）までに
メール・電話にて



も、立派な百科事典を出したいと念願するようになつた動機も私のほとんど学校教育を受け得ないで育つたという経歴による一貫不感の要求であった。

大きいものが小さいものに強いものが弱いものに、ほんのチョット譲ればいいんです。先を譲つたからといって損をするなどあります。譲る姿は、はたから見ても恰好いいし、自分の気持ちもいいものです。

Mランドは、「恰好よく譲る」そんな気持ちをもつてほしいのです。

しかし、近代文明の発達とともに私たち現代人は個

人主義偏重、自己中心的

な考え方をはびこらせてし

まいました。

「強くなければ生きられ

ない。優しく（愛が）なけれ

ば生きる資格がない」という

言葉があります。

五月二十七日、創立記念の日はちょうど百五年前の一九〇五年、日露戦争の日本海海戦があつた日です。

東郷元帥率いる日本の連合艦隊が当時世界最強といわれていたロシアバルチック艦隊に勝利した日です。

皮肉にもこれが第二次世界大戦につながっていくのです。歴史の流れは次第に道筋がつくられていきどうしても避けられない方向に動いてしまうものが

あるようです。

それはさて置き、その時なぜアジアの小国日本が世界の大國ロシアに勝てたのか。考えてみると、同様に創立記念日に会社の目的や方針を考えることはとても大事なことだと思います。まして昨今の基地問題などについては根本的なことの議論が聞こえてこないように感じるのでですが…。（文）



ハナミズキを記念植樹